

活動団体の紹介

「琵琶湖・淀川流域圏連携交流会」と関係を持つ中で、流域圏の再生に向け課題の解決に取り組む活動を行っている団体をいくつか紹介します。

詳しくはホームページをご覧ください。

<https://by-rrk.net/>



【表の見方】 ① 活動団体名(活動地域) ② 活動内容 ③ ホームページ

<p>① NPO法人 蒲生野考現倶楽部 (滋賀県日野町、東近江市)</p> <p>② 里山の生物調査、水環境調査を通して学ぶ伝える</p> <p>③ https://kougenclub.shiga-saku.net/</p>	<p>① 琵琶湖を戻す会 (琵琶湖)</p> <p>② 外来魚の駆除・情報交換会、伝統漁法であるエリ漁の見学等を実施</p> <p>③ https://biwako.eco.coocan.jp/</p>	<p>① カッパ研究会 (主に京都市内)</p> <p>② 京の水文化を研究し、その成果を書籍等にまとめ、水の大切さを伝える</p> <p>③ https://kappa-kyoto.net/</p>
<p>① NPO法人子どもと川とまちのフォーラム (京都府内)</p> <p>② 子どもと大人が川で遊び、自然と人との関わりを学ぶ</p> <p>③ https://kodomokawamachiforum.com/</p>	<p>① NPO法人ピオトープネットワーク京都 (京都市、宇治市ほか)</p> <p>② 自然の不思議さと大切さに気付くピオトープづくり</p> <p>③ https://biotopenetkyoto-web-1.jimdosite.com/</p>	<p>① 有栖川を考える会 (有栖川流域)</p> <p>② 住民参加による多自然型川づくり、地域の特性に合った様々な活動を実施</p> <p>③ https://kyoto-mizube.com/organization/210/</p>
<p>① 鴨川を美しくする会 (鴨川流域)</p> <p>② 地域住民が立ち上がり、美しい川を取り戻すため、清掃活動・環境学習等を実施</p> <p>③ https://www.kyoto-kamogawa.jp/</p>	<p>① 森林ボランティア「フォレスターうじ」(宇治市内)</p> <p>② 遊歩道周辺の整備、自然観察会等の実施</p> <p>③ https://forester.foresteruji.org/</p>	<p>① NPO法人やましろ里山の会 (木津川流域、淀川流域)</p> <p>② 生き物の観察や農作業の体験により、自然環境を守る</p> <p>③ http://www.yamashiro.npo-jp.net/</p>
<p>① NPO法人ひらかた環境ネットワーク会議 (枚方市内全域)</p> <p>② 環境先進都市を目指して、まちの美化活動等を実施</p> <p>③ https://hirakata-kankyoutai.net/</p>	<p>① NPO法人nature works (茨木市ほか)</p> <p>② 環境教材の開発、生物調査、講演会等を実施</p> <p>③ https://npo-natureworks.net/</p>	<p>① 東横堀川水辺再生協議会 (e-よこ会) (東横堀川、土佐堀川ほか)</p> <p>② 快適な水辺をつくり、活かし、伝える</p> <p>③ https://www.e-yokobori.jp/</p>

流域圏内の様々な活動を振り返って

ウシガエル捕獲の取り組み (近畿中国森林管理局)

箕面国有林において、在来生物の保護、生物多様性の保全の活動に取り組むとともに、市民の皆さまに参加いただくことで生態系を守る取り組みの意義を広めています。

めがせ、人が楽しみ、魚がよるこぶ川づくり!! ~野洲川の自然再生~ (琵琶湖河川事務所)

野洲川の河口部でのヨシ帯の再生、魚道の整備、アユの産卵場づくり等を実施しています。

水辺で再発見!日野川から広がる自然の学び(NPO法人蒲生野考現倶楽部)

滋賀県東部を流れる日野川水系で、日野川の源流から琵琶湖までを子どもたちと探検する取り組みや、生き物観察会などを35年あまり続けています。

淀川・水の回廊の「今」を知り、その魅力を発信!!(大阪府)

八軒家浜船着場から毛馬開門・淀川大堰開門(淀川ゲートウェイ)、十三船着場を巡るフルーズイベントを実施し、多くの方々にご参加いただきました。

「水都おおさか森林(もり)の市2025」開催(近畿中国森林管理局)

毛馬桜の宮公園および桜ノ宮合同庁舎で開催しました。森林が水や暮らしを支えてきた歴史、林業の役割、農山村地域の現状などを知るきっかけとなることを目指しています。

いながわ体験フェスタで水環境をPR~観察・工作・体験で猪名川の水環境を学ぼう~(猪名川河川事務所)

猪名川における水環境の啓発と改善の取り組みとして平成28年から開催しています。

淀川の舟運でつながる! 人・自然・歴史(枚方市)

淀川の舟運は、近年では防災や観光を担う観点から見直されつつあり、民間事業者により「蘇れ!!淀川の舟運」と「淀川浪漫紀行」が航行しています。

下物ピオトープ観察会~ピオトープの水だいたい抜く~(滋賀県)

内湖本来の生態系の再現を目指して、滋賀県と独立行政法人水資源機構が整備した下物(おろしも)ピオトープの観察会を開催しました。

城北わんどをみんなできれいに!!(淀川河川事務所)

「淀川わんどグリーン大作戦」を開催しました。地域の方や団体・企業などにご参加いただき、わんどの環境について考える有意義な1日となりました。

琵琶湖・淀川流域圏の市民活動を繋いできた20年(琵琶湖・淀川流域圏連携交流会)

さくらであい館での「琵琶湖・淀川流域圏情報交流コーナー」の開設、リレー見学会の実施、見学会等で知れた情報をまとめた冊子の発行等を行っています。

関係者が連携して取り組む北摂地域の里山保全(兵庫県)

里山放置林を環境・文化・減災の観点から再生させる「先進的里山林」管理が、市民ボランティアにより活発に行われています。

琵琶湖・淀川流域圏の再生計画

20年間の取り組み

水でつなぐ「人・自然・文化」
琵琶湖・淀川流域圏



豊かな自然を残そう!
水と共に暮らす環境を再生しよう!
歴史・文化と水資源で地域再生!

再生計画とは

琵琶湖・淀川流域圏に深い関わりを持つ関係省庁と地方公共団体が、流域圏として一体的・総合的な施策を展開することで、「歴史・文化を活かし自然と共生する流域圏・都市圏の再生」を図るための計画を平成17年に策定しました。

- 計画名称:琵琶湖・淀川流域圏の再生計画
- 対象区域:琵琶湖・淀川水系から水を供給している市町村の区域。
- 対象期間:概ね策定後5~10年間の具体化を目的に、長期的(概ね20~30年間)な見直しを踏まえながら取り組んでいます。

基本理念

流域圏を一体として捉え、歴史・文化を活かしながら、人間を含めた全ての生物の営みが持続可能となる環境を再生し、安全で活力あふれる魅力的なまちづくりを行うため、流域圏全体で行動する。

基本方針

- 歴史・文化の活用
- 水文化の継承
- 連携の推進
- 水循環系の再構築
- 生態系と水環境の回復
- 原風景の保全
- 水を活かしたまちづくり
- 安全で安心な水の確保
- 災害に強い地域づくり
- 活力と魅力あふれる流域圏の創造

コンセプト

水でつなぐ
“人・自然・文化”

再生計画 5つの連携テーマ

- みずべプロムナードネットワーク
- 水辺の生態系保全・再生ネットワーク
- 水辺の賑わい創出
- 流域水環境再生
- 流域連携

お問い合わせ先

国土交通省 近畿地方整備局 企画部 広域計画課
〒540-8586 大阪市中央区大手前3-1-41 大手前合同庁舎
TEL 06-6942-1141 (代表) FAX 06-6942-7463



琵琶湖・淀川流域圏再生推進協議会

【参画機関】 国土交通省、農林水産省、林野庁、経済産業省、環境省、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、京都市、大阪市、大津市
【オブザーバー】 独立行政法人 水資源機構 関西・吉野川支社

詳細はホームページをご覧ください

<https://www.kkr.mlit.go.jp/plan/biwayodosaisei/index.html>





みずべプロムナード ネットワーク

テーマごとの活動目標

舟運・サイクリング・ウォーキング等でゆったりと味わい・楽しみ・学びながら、周遊できる水辺のネットワークを構築します。

テーマごとの取り組み

- ★ネットワークの構築
- ★「川の駅」「湖の駅」の整備
- ★ソフト面の取り組み
- ★社会実験等としての取り組み



● みずべプロムナードの整備

20年間で、657.7kmの「みずべプロムナード」を整備し、プロムナードを活用したイベントが開催されています。

● 川の駅の整備

休憩場所等があり、常駐する案内人が地域の情報を提供する拠点として、16箇所を「川の駅」として広域展開しています。

● 舟運の魅力向上

淀川河口部から伏見港にかけての航路確保に向けた工事の実施等を進めています。利用ニーズに沿った運航コース等の設定、近年増えている外国人への対応、ポストコロナ時代を見据えた対応等を実施しています。



琵琶湖・淀川流域圏の再生計画

20年間の 取り組み



水辺の生態系 保全・再生ネットワーク

テーマごとの活動目標

淡水生物の宝庫である多様な生態系を保全・再生するため、希少種等の保全を視野に入れ、それらを取り巻く生物の生息・生育環境を保全・再生します。

テーマごとの取り組み

- ★生きもの多様な空間づくり
- ★生きものが出会うネットワークづくり
- ★いきいきとながれる川づくり
- ★琵琶湖・淀川流域圏ならではの種の保全
- ★ソフト面の取り組み
- ★連携施策の推進



● 生物の生息・生育環境の保全

ヨシ帯や内湖、ワンド、干潟等の生物の生息・生育環境を保全・再生しています。

● 水域の連続性の維持・向上

魚道の整備や、河川や琵琶湖と水田との行き来を可能とする取り組み等を住民と実施し、生物の生息・生育空間の連続性を確保しています。

● 川本来の営みの復元

ダムからの放流量を一時的に増やしかく乱を起こす試みや、バープ工の設置等による河川環境の早期回復及び維持の取り組みを実施しています。

● 在来種の保護増殖と 外来種対策の実施

天然記念物（イタセンパラ等）の保全増殖活動や、外来種（オオクチバス、ボタウキクサ等）の駆除等の活動を実施しています。

水に係る情報の発信と 水を介した連携の促進

見学イベントの開催、マップ・パンフレットなどの制作・配布、案内板などの設置など、多様な手法を用いて情報を発信しています。また、流域住民や子供たちが連携した防災活動や上下交流活動等に取り組んでいます。



水辺の賑わい創出

テーマごとの活動目標

まちに潤いをもたらす「せせらぎの創出」、水辺にふれあい、楽しむことができる「親水空間の再生・創出」を図り、人々が集い、活気に満ちた水辺を創出します。

テーマごとの取り組み

- ★せせらぎの創出
- ★親水空間の再生・創出

● まちなかにおけるせせらぎ整備

せせらぎの再生、既存水路等を活用したせせらぎの創出を図り、水辺空間を活かしたイベントの開催に取り組んでいます。

● 水辺を活かしたまちづくり

水辺の親水空間の整備や舟運等と一体となったまちづくりに取り組み、多くの人々が水辺に親しめる空間を再生・創出しています。

● 水辺空間の再生・創出・魅力向上

水辺空間を地域の資源として整備し、交流イベント等を開催することで、魅力ある水辺を創出しています。



流域水環境再生

テーマごとの活動目標

森林地域や農村地域と流域の恵みを受取る都市部が一体となり、豊かな水を育む森林・農用地の保全・再生や、河川や湖沼のさらなる水質改善、安定した水量の確保を図り、健全な水環境を実現します。

テーマごとの取り組み

- ★適正な水環境のための水環境改善計画の作成
- ★「生命の水再生」アクションプランの実施
- ★水と人とのつながりの再構築
- ★流域水環境の総合管理に向けたアプローチ



● 適正に水環境を改善する計画の策定

猪名川では水環境交流会等の開催、木津川上流では NPO を核とし水質について一般住民への広報活動等を実施しています。

琵琶湖では、マザーレイクゴールズをテーマとしてワークショップや学術フォーラム等を開催しています。大阪市では「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」実行計画を策定し、各種取り組みを行っています。

● 水源の森林づくりの推進・啓発

水源かん養機能の保全に向けて、森林の適正管理、里山の保全等に取り組む、関係機関等との連携を図っています。



流域連携

テーマごとの活動目標

地域間・主体間・分野間で連携した一体的な取り組みを継続するため、行政間の連携を推進する組織、市民・NPO・自治会等のネットワークの構築、また、これらを連携する組織を設置します。



● 琵琶湖・淀川流域圏再生推進協議会

再生計画に関係する 14 の多様な機関によって設立し、連携を図りながら計画を推進しています。

● 公益財団法人 琵琶湖・淀川水質保全機構

水質保全に関する様々な活動を通して、流域活動団体の支援や行政と住民が一体となる取り組みを行っています。

● 琵琶湖・淀川流域圏連携交流会

流域圏で活動されている様々な団体等を横断的につないだネットワーク組織として設立し、様々な活動を通じて多くのNPO等が連携を深めています。

● 琵琶湖・淀川流域圏再生有識者委員会

有識者からなる委員会を設立し、再生計画の進捗について助言をいただきながら取り組んできました。平成27年1月に役割を終えて解散しました。

